

カメラに保持された測位ログデータをメモリーカードに書き出す (ログの一括保存)

カメラ内部に保持された測位ログデータをKMLファイル(拡張子は.kml)に変換して、メモリーカードに保存することができます。

1. カメラの電源を切り、メモリーカードをカメラに入れる
2. カメラの電源を入れ、**[地球儀]**(地図)を押す
3. **[MENU]**を押し、“地図設定”タブ→“ログの一括保存”と選び、**[▶]**を押す
4. **[▲]****[▼]**で“保存”を選び、**[SET]**を押す

“処理中です しばらくお待ちください”と表示されたのち、測位ログ情報がメモリーカードに書き出されます。

参考

- KMLファイルは1日ごとに1ファイル書き出され、ファイル内のデータに記録されている日時は、“ログの一括保存”を実行したときにカメラ上で設定されている時刻を基準にしてつけられます。
- 書き出されるKMLファイルは、メモリーカードのDCIMフォルダの中にあるKMLフォルダ内に書き出されます。
- メモリーカードがカメラに入っていないとき、カメラに入っているメモリーカードに十分な空き容量がないとき、または電池カバーが開いているときは、本機能は使用できません。
- このKMLファイルをGoogle Earthなどの地図ソフトに取り込むと、パソコンの地図上に移動した軌跡を表示することができます。